

「水道出前講座」の開催報告について

山武水道では、私たちの生活に欠かすことのできない水道について関心、興味を持ってもらうことを目的に、九十九里地域水道企業団から協力を受けて、小学校4年生を対象に「水道出前講座」を実施しました。

実施日

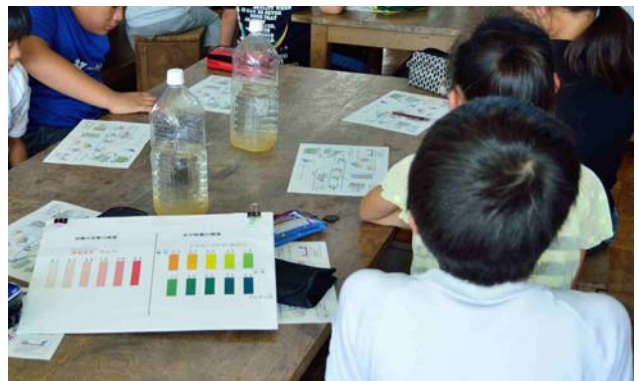
平成26年7月16日 九十九里町立片貝小学校 39名

講座の内容

- ①水の流れ（水源から蛇口まで）DVD上映
九十九里地域水道企業団作成のDVDの上映により、利根川からの水が浄水場できれいになる様子の学習
- ②凝集沈殿の実験
川の水に凝集剤を添加して、凝集沈殿の様子の観察
- ③学校の水の「残留塩素」「PH」の測定
児童による、残留塩素・PHの検査体験
- ④水1立方メートルについて簡単なお話
- ⑤各種水道管の展示
ポリエチレン管、水道メータ、木樋の展示

以下に、出前講座の様子と片貝小学校の生徒たちの感想を掲示します。





子供たちの感想

- さん性は、レモンみたいにすっぱいとか、アルカリ性は、にがいなど、いろいろなことがしれて、うれしかったです、あと、一立方メートルは「1L」を「1000」こぶんいる、ということもわかり、じっさいに実験をやり、水がきれいになるところや、色がついた水の実験もやり、とつてもたのしかったです、水をのむ時に、おいしいのみかたを、おしえていただいたので、さっそくやってみたいと思います、これからずっと、水を大切に、つかっていきたくとあらためて思いました、はやく2学期になって、けんがくにいきたくといます。
- ペットボトルに川の水と、くすりをいれてふると、そのうちみえないよごれが、すこしみえるようになり、くつついて大きくなっていき、さいごにはよごれは、大きくなって、しずんでいて、川の水は、うっている水のように、すきとおっていて、あのごっていた水が、こんなくらべものにならないくらい、すきとおってしまうなんて、とてもすごいなとおもい、とてもべんきょうになりました、わたしは、はやく東金浄水場にいきたくと思いました。
- ぼくは、お水のなかに、塩そがどれくらいあるかの、じっけんをやりました、塩そのりょうは0.4~1.0でした、学校の水が安全に、のめるとわかりました。
- 水道出前授業を勉強して、どこからくるのか、水がどのようにきれいになるのかが、とてもわかった、昔の水道管や、今の水道管のちがいがわかった。
- 水道の勉強をして、いつも使っている水の事や、じょう水場がどのように水をきれいにしているのか、水はかぎられている事などを知って、水をもっと大切にしたいと思いました。
- 水がどこからきて、じょう水場まで行くかしり、さらに実験もして、ビデオも見て水の大切さや、作る時の大変さをしり、利根川から九十九里片貝までくるのに、水道管を通ってくるということがわかったので、これからも水を大切にしていきたいと思います。
- ふだんつかっている水道水の、ざんりゅうえんそやPHなどの、水しつをしれて、びっくりした、ペットボトルをふると、中の小さなゴミが、しずんでいって、じかんがたつと、きれいに分かれた、でもまだ小さいゴミが入っていると、いっていたのでびっくりした、きれいな水はじょうすいじょうの人が、はたらいてつくっているの、水をムダにしないようにする。